

令和3年5月1日作成

令和3年度高知県高等学校体育大会

ボクシング専門部新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

本専門部の主管大会における新型コロナウイルス感染対策を下記の通り定める。

1 全般的な事項

- ①実施専門部は、感染防止のために実施すべき事項や参加者が厳守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること。
- ②実施専門部は各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- ③参加校のエントリー選手・帯同部員（補助員）・引率者・監督・外部指導者等（以下「大会参加者」という）は、【様式1-①②】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックし、大会初日には【様式2-①】高体連主催大会における大会前の健康状況等確認についてと【様式1-①②】の写しを大会本部に提出すること。また、大会日毎に【様式2-②】高体連主催大会における大会期間中の健康状況等確認についてを大会本部へ提出すること。万が一感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、【様式1-①②】の原本について、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ④実施専門部は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報に十分注意しながら、大会参加者から提出された【様式2-①②】の原本および【様式1-①②】の写しについて、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ⑤大会役員等は【様式1-③】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈大会役員等〉（個人書式）を大会終了日までチェックし、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。なお、チェック期間に体調不良等が生じた場合には競技担当者へ連絡を取り参加の可否について確認すること。また大会終了後2週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。
- ⑥参加校及び実施専門部は参加者に陽性者・濃厚接触者が確認された場合、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- ⑦参加校は大会終了後も【様式1-⑤⑥】高体連主催大会参加後 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を用い、2週間に渡りチェックを継続し、大会終了後1月以上保存すること。

また、大会終了後2週間以内に陽性者・濃厚接触者・接触者が発生した場合には、実施専門部に対して速やかに報告すること。実施専門部は報告を受けた場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。

- ⑧取材や写真撮影を希望する団体は事前に実施専門部へ連絡するとともに【様式1-④】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈取材団体等〉をダウンロードし、各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックすること。大会当日は各競技受付へ【様式1-④】提示し、参加者名簿へ必要事項を記入したのち入場すること。大会終了後2週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。

【様式取扱一覧】

[高知県高等学校体育連盟 HP <http://www.kochinet.ed.jp/kochi-htaiiku/>] より DR 可

様式	作成者	内容	保存場所	保存期間
【様式1-①②】	参加校	<ul style="list-style-type: none"> ・2週間体調チェックし作成 ・大会期間中もチェックする ・求めがあれば提出 	各校顧問	大会終了後1月以上
【様式1-③】	大会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ・2週間体調チェックし作成 ・大会期間中もチェックする ・求めがあれば提出 	作成者	
【様式1-④】	取材や写真撮影を希望する団体	<ul style="list-style-type: none"> ・2週間体調チェックし作成 ・会場受付にて提示 ・大会期間中もチェックする ・求めがあれば提出 	作成者	
【様式1-⑤⑥】	参加校	<ul style="list-style-type: none"> ・大会後2週間体調チェックし作成 ・求めがあれば提出 	各校顧問	
【様式2-①】	参加校 (学校長)	<ul style="list-style-type: none"> ・大会前2週間の健康チェック内容を学校長が確認し、公印を押印し作成 ・大会当日に顧問が大会本部へ【様式1-①②】の写しを添えて提出 	専門部	
【様式2-②】	参加校	<ul style="list-style-type: none"> ・大会日毎に作成 ・大会参加を自粛するものがある場合は所属長および実施専門部へ状況を報告 ・大会本部へ提出 	専門部	

※【様式2-①②】は提出がない場合、原則試合への出場が認められないので各校顧問は注意すること。

2 競技運営上の感染対策留意事項（各専門部にて運用方法の設定）

令和3年度高知県高等学校体育大会（会場高知県岡豊高校）

ボクシング競技

①. 全般的な事項

- ◎ 高知県で感染者の激増の場合中止の判断
- ◎ 入場者数抑制 入場は引率顧問、大会競技役員、保護者に限る。
- ◎ 競技会場内での食事禁止
- ◎ 【様式1-①②】【様式2-①②】記録書の作成（感染が確認された場合に提出）

②. 競技会主催者が準備すべき事項

- ◎ 大会会場内に医師の配置
- ◎ 会場内 消毒ポンプ・靴底消毒、手洗場に液体石鹸の設置
- ◎ ゴミ袋多数用意（使用後必ずきつく結んで廃棄することのお願い）と各自持ち帰りのお願い
- ◎ 待機場所はボクシング場 外に設置した屋外テントとする
- ◎ 競技会場は十分な換気をする。換気効率を高める

③. 競技会参加募集時の対応

- ◎ 大会参加者は大会前2週間～当日の健康チェックシート提出
【様式1-①②】【様式2-①②】
- ~~◎ 会場に入る際保護者からの健康申告書【様式1-③】を提示して頂く~~
- ◎ 選手、引率他役員、競技会場を訪れる関係者は個人でタオル持参指示
- ◎ 開会式・閉会式・インテグリティ研修等諸会議の省略、もしくは学校代表出席等の最小人員での開催

④. 当日参加受付時の対応

- ◎ メディカルチェック通過後、入場許可IDカードの発行
- ◎ 健診・計量のディスタンスの確保、検温・血圧脈拍測定等の長机で測定者同士との間、ドクター診察時ドクターとの間隔をあける

⑤. 競技会参加者への対応

- ◎ 入場者の全員検温（非接触型体温計）
- ◎ 入場者の手指消毒の徹底
- ◎ 大会参加者は大会前2週間の健康チェックと大会期間中また大会後の健康観察
- ◎ 競技中に大きな声での会話、応援等の自粛、拍手での応援の推奨

⑥. 選手がウォームアップを行う際の留意点

- ◎ 水を飲むことは可能だが、感染対策上、うがい用バケツを各自準備し処理する
- ◎ ウォームアップをする際はソーシャルディスタンスを意識したウォームアップを心がける

⑦. 試合を行う際の留意点

- ◎ 競技中の競技者以外はマスクを着用
- ◎ 計時・ゴング・アナウンス席等の長机で、担当者との間隔を空ける
- ◎ リング各コーナー下にうがい用水は置かない。持参した水を使用し、他選手との共有はしないようにする
- ◎ 競技中インターバル中にセカンドがタオルで送風することの禁止
- ◎ 競技終了後、対戦選手とセカンドの握手は自粛し距離を確保した挨拶をする
- ◎ グローブ・ヘッドガードなど選手が共有する用具は一試合ごとに消毒
- ◎ セカンドは競技中、ビニール手袋を着用する。手袋の使用は一試合ごととし、ビニール袋に入れて密閉して廃棄する
- ◎ 競技の合間にコーナーポスト ロープなど消毒（競技数によるが1試合 15 分間とする。役員が消毒担当）
- ◎ アナウンスマイク・ストップウォッチ・ゴング機材 担当者交代ごとの消毒

⑧. 参加前後の留意事項

- 1) ①新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に備え、利用所より提出を求めた書類は一ヶ月間保管しておく。
- ②大会参加者が大会終了後14日間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合、実行委員会は保管している健康チェックシート及び申告書の情報提供を関係機関に対して行う。

[大会参加についての想定判断基準]

大会開催にあたり感染拡大を受けた出場条件についての準備

①出場予定選手の所属校で感染者が出た場合

- (1) 学校閉鎖 → 閉鎖期間の該当校ボクシング部出場不可
- (2) 学級閉鎖 → 閉鎖期間の該当クラス部員の出場不可
- (3) 通常登校 → 濃厚接触者であれば②へ、濃厚接触者で無ければ出場可

②出場予定の選手が濃厚接触者となった場合

- (1) PCR検査受診
 - 陽性反応 → 本陣出場不可、濃厚接触者とされたボクシング部員も出場不可
 - 陰性反応 → 濃厚接触とされた日から14日間以内は出場不可
- (2) 2週間の自宅待機の状況下にある（濃厚接触または感染疑い等による）

該当部員は出場不可・該当部員以外のボクシング部員は出場可

③大会期間中も上記に準じる

④上記理由によって出場を辞退する場合は開催専門委員長へ速やかに連絡をする